

Organo de HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

Heroldo de HEL

N-ro 140

Marto 2012

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

[Enhavo/目次]

- 表紙、Enhavo/目次 P. 1
- ご報告：JEI 団体会員加入についてのアンケート結果/
事務局長 川合由香 P. 2
- 年会費納入状況の再確認について -ご報告とお詫び-/
事務局長 川合由香、 会計 後藤純子
- Babilado pri kio min interesas/ つれづれなるままに ---- ?/ P. 3
HOŠIDA Acuŝi
- Radioaktiva Koncentriteco de monta akumulita Elfalajo en la P. 6
urbo Sapporo/ 札幌市における月間降下物放射能濃度/YOKOYAMA H.
- Turismo en Sapporo(Sencele promenadi en Sapporo)/
札幌の観光案内 (ぶらりサッポロの散歩道) /YOKOYAMA Hiroyuki, P. 11
GOTOO Sumiko, GOTOO Yosiharu, YAMAGISI Etuko
- Danke ricevitaĵ - 受領郵便物 - (星田淳 扱い) P. 16
- Protokolo de la 11a Kunsido de Loka Kongresa Komitato por la P. 17
99a Japana Esperanto-Kongreso[第99回日本大会11回LKK 議事録]
- Protokolo de la 4-a Komitata Kunsido de HEL/ P. 19
北海道エスペラント連盟 第4回委員会記録
- [編集後記/Redaktanto parolas ...] P. 20

ご報告：JEI 団体会員加入についてのアンケート結果

事務局長 川合由香

本誌前号（第139号、2012年1月）に趣旨を掲載し、皆様のご協力をお願いしたHELの「JEI 団体会員」加入の是非についてのアンケート結果がまとまりましたので、報告いたします。

アンケート対象者は購読会員・贈呈会員を除くHEL 会員40名で、回答葉書をお寄せくださったのは23名、回収率は58%でした。

結果は、

JEI 団体会員となることに	賛成：22名
	反対：0名
	その他：1名

でした。

「その他」の方のコメントは、「反対ではありませんが、団体会員にならないと、HEL には何かデメリットがあるのですか？」というものでした。

JEI 団体会員にならなくても、HEL 側には特段の不利益は生じません。しかし、「HEL（エスペラント団体）としてJEI を支える姿勢がない」ということになります。JEI は日本のエスペラント運動の中心となる全国組織であり、これを盛り立てていくことはHEL 連盟規約第4条C「国内外のエスペラント団体との協働」の精神に沿ったものであるといえるでしょう。JEI 側もHEL が団体会員となることを望んでいます。とくに差支えがなければ、団体会員になることが望ましいと思われま

す。反対意見が出ませんでしたので、委員会はJEI 団体会員加入手続きに入ります。その経過は逐次、本誌（委員会議事録等）で皆様に報告していきます。

アンケートにご協力くださった方々、ありがとうございました。

年会費納入状況の再確認について —ご報告とお詫び—

事務局長 川合由香
会計 後藤純子

年会費納入記録を含むHEL の会員名簿は、事務局長が一元的に管理してまいりましたが、事務局長の不在時（2009～2010年と2010～2011年の入院中）などに、

会計が「Heroldo de HEL」の宛名シールの「有効期限」を書き換えて発送することがありました。

昨年末に、2人のあいだで有効期限の計算方法が統一されていないために誤りが生じたことが発覚したため、このたび、皆様の年会費納入記録を再度洗い直しました。

計算方法は以下のとおりです。

- ・有効期限が切れる前に入金（Ekz. 1 年分）があった場合は、有効期限を1 年間先へ延長する。
- ・有効期限をn ヶ月過ぎて入金（Ekz. 1 年分）があった場合は、次の有効期限は入金の(12 -n)ヶ月先とする。

当たり前のようなのですが、これができていませんでした。申し訳ありませんでした。今回、「Heroldo de HEL」に皆様の会費納入記録を同封いたしました。上記の計算が目で見えてわかるようにお一人ずつ納入記録を図示してありますのでご覧ください。太線が会費の有効期間、細線が会費の切れている期間（さかのぼって会費を納めていただいた扱い）です。毎度、期限が切れる前に次の会費を納入していただいた方につきましては、図はありません。

計算と作図には十分注意をしたつもりですが、人間の手作業ですので、間違いがないとは言い切れません。ご不明な点がございましたら事務局長までお尋ねください。また、住所・電話番号その他の項目について間違いや変更がありましたら事務局長までご連絡願います。電子メールアドレス・携帯電話番号は、それを使っての連絡を希望される方のみご回答ください。

連絡先 〒072-0016 美唄市東5 条南5 丁目2 -21 川合由香

TEL & FAX : 0126-62-4636

電子メール : nordano @sea.plala.or.jp

皆様の大切な会費の管理がずさんであったことを深くお詫びするとともに、今後の納入へのご協力をお願いいたします。

B a b i l a d o p r i k i o m i n i n t e r e s a s

つれづれなるままに —— ?

H O S I D A A c u s i

* d e m e n c o

この頃よく聞く「認知症」で、J E I のエスペラント日本語辞典には demenco が出ていますが、日本語エスペラント辞典の出たころ（1983年）はまだ「認知症」はなく「痴呆」に対して demenco と になっている。

ESPERANTO-KOREA(1976) では「痴呆症）、NOVA VORTARO ESPERANTA-ĈINA(1980) でも「痴呆」です。でも、これに対して別の やさしい表現もあったのです。

* m a l s a ĝ i ĝ i s k a j i n f a n i ĝ i s

見たことありませんか？ 百年以上前にザメンホフが使っています。

Fundamento de Esperanto の EKZERCARO §39 に

Tiu ĉi maljunulo tute malsagiĝis kaj infaniĝis.

が あります。

「この老人はすっかりぼけて子供みたいになってしまったよ」と言うところでしょうか。

* p e r の使い方？

こんな文がありました。

videofilmo, kiu estas kreita per esperantistoj de Lausanne,

はてな、この文はこれでいいのかな？

per は「道具、手段」を示すから 「Lausanne のエスペランチストたちを使って（道具、手段として）作られたビデオフィルム」となるが、どうも変ですね。作ったのはだれ？ 結局エスペランチストじゃないの？ 気がつくと PIVの per に次の RIM(Rimarko, 注) がついていました。

RIM. 2 La prep-on per post pasivo oni povas uzi nur en tia okazo, se ĝi troviĝas antaŭ vorto kiu esprimas ne la aganton mem, sed rimedon uzitan de iu alia aganto.

何を言っているか？ どうやら --- 受け身表現のあとに per が使われるのは 次に来る単語が行為者（その動作をするもの）でなく、その動作の際に使われるもの（手段、道具）である場合だ --- ということ。

この文での行為（動作）は krei（つくる）ですが、つくったのがエスペランチストなら行為者ですから per esperantistoj はおかしい（間違い）です。

ではこんな場合行為者を示すのは？ de ですね。kreita de esperantistoj になるはずですが。もし新しいビデオカメラを使って作ったのならビデオカメラは道具ですから

videofilmo, kiu estas kreita de esperantistoj de Lausanne, per nova

videokameras

と書けるでしょう。

*HEL掲示板から (アイヌ per Esperanto)

—HOCXIDA さんへ、 投稿者: NC 投稿日: 2012年 3月 6日

アイヌは、ajnuなんですね、てっきりainuだとばかり思っていました。中国語の表記で「愛努」というのは国立民俗学博物館のパンフレットで観ましたが。!

—NC さんへ 投稿者: HOSXIDA Acus`i 投稿日: 2012年 3月 7日

アイヌの伝承を初めてエスペラント訳して紹介したのは横須賀のまつばきくのぶ (松葉菊延) さん、知里幸恵の「アイヌ神謡集」の一編を: 出版 (1923—大正12・年) の3年後でした。

まつばさんがこの時使った「アイヌ」に対する訳語 aino は、それから半世紀のち北海道エスペラント連盟が「アイヌ神謡集」の全訳を出したときもそのまま引き継がれています。

原語・アイヌ語での発音をエスペラント表記にすれば ajnu になるので これをエスペラント化したのでしょうか、ajnuo が 上記の aino とともに PIV に出ています。

El



Radioaktiva Koncentriteco de monta akumulita Elfalaĵo en la urbo Sapporo

YOKOYAMA H.
横山裕之

札幌市における月間降下物放射能濃度

Nuna stato: http://www.hokkaido-asu-ngo.jp/radiado_esp.htm

現在の状態:

Malsupre ĉe la Hokkajda Instituto pri Publika Sano en la urbo Sapporo troviĝas la rezultoj pri areaj radiadaj dozoj mezurita, monta akumulita elfalaĵo (polvo, pluvo kaj aliaj) kolektita kaj aliaj.

札幌市の北海道立衛生研究所で測定された空間放射線量や採取された月間降下物(雨や塵など)などの測定結果が下にあります。

Aeraj radiadaj dozoj en la urbo Sapporo estas normalaj niveloj. (La averaĝo estas 0.06 $\mu\text{Sv/h}$, 0.3mSv/jaro (en la alto de 1.6 metroj):

http://www.tph.pref.hokkaido.jp/eiken_housyancu/eiken_housyancu.htm#dosa)

札幌市における空間放射線量は、通常レベルです。

Ankaŭ aeraj radiadaj dozoj ĉe 15 lokoj (<http://monitoring.hokkaido.info/index.php?lang=en>) en la gubernio Hokkajdo estas normalaj niveloj.

北海道の15ヶ所での空間放射線量も、通常レベルです。

Kaj ankaŭ teraj radioaktivaj koncentricoj ĉe sep lokoj (<http://monitoring.hokkaido.info/index.php?lang=en>) en Hokkajdo estas normalaj niveloj.

また、北海道の7ヶ所での土の放射能濃度も、通常レベルです。

Pro tio troviĝas nenfui malbonaj simptomoj pri homa sano en Hokkajdo.

このため、北海道では人の健康への悪い兆候は見られませんでした。

Monta akumulita elfalaĵo 月間降下物				Unujara radioak dozo ($\mu\text{Sv/jar}$) konvertita de Bq 換算年間放射線 (Procentoj kont natura unujar averaĝo 400 $\mu\text{Sv/}$ (自然年間平均) 対する百分率)
Datoj, en kiu la elfalaĵo estis akumulita 採取日	Rezultoj de mezuroj 測定結果			
	Radioaktiva jodo 放射性ヨウ素 (Jodo-131) (ヨウ素-131) (Bq/m ²)	Radioaktiva cezio 放射性セシウム (Cezio-137) (セシウム-137) (Bq/m ²)	Radioaktiva cezio 放射性セシウム (Cezio-134) (セシウム-134) (Bq/m ²)	
1 dec. (ĵau.) - 4 jan. 2012 (mer.) 2012年1月4日 (水)	Ne detektita (不検出)	Ne detektita	Ne detektita	-
1 nov. (mar.) - 1 dec. 2011 (ĵau.)				

file:///F:\vartikolo_pri_radiado_jp.htm

2012/03/07

2011年12月1日 (木)	Ne detektita	Ne detektita	Ne detektita	-
3 oct. (lun.) - 1 nov. 2011 (mar.) 2011年11月1日 (水)	Ne detektita	Ne detektita	Ne detektita	-
1 sep. (ĵau.) - 3 oct. 2011 (lun.) 2011年10月3日 (月)	Ne detektita	0.093	0.12	0.041 (0.01%)
1 aug. (lun.) - 1 sep. 2011 (ĵau.) 2011年9月1日 (木)	Ne detektita	0.070	0.13	0.036 (0.009%)
1 jul. (ven.) - 1 aug. 2011 (lun.) 2011年8月1日 (月)	Ne detektita	0.45	0.38	0.17 (0.04%)
1 jun. (mer.) - 1 jul. 2011 (ven.) 2011年7月1日 (金)	Ne detektita	0.35	0.39	0.14 (0.04%)
2 maj. (lun.) - 1 jun. 2011 (mer.) 2011年6月1日 (水)	0.58	2.3	2.4	0.93 (0.2%)
1 apr. (ven.) - 2 maj. 2011 (lun.) 2011年5月2日 (月)	5.7	6.0	6.0	2.3 (0.5%)
1 mar. (mar.) - 3月1日(火) 1 apr. 2011 (ven.) 2011年4月1日 (金)	0.41	Ne detektita	Ne detektita	0.00001 (0.000003%)

*La elfalaĵoj estas kolektita sur la tegmento de la Hokkajda Instituto pri Publika Sano.
 ※降下物(月間)の採取場所は、衛生研究所屋上です。

*Tiuĵ estas kolektita el granda baseno, kies areo estas 5024 cm², en ĉiu monto.

※受水面積 5, 024cm²(直径80cm)の大型水盤に水を入れておき、降下してきたものを一カ月ごと採取します。

**"Ne detektita" indikas, ke radioaktiva koncentriteco estas pli malalta ol la detekta limo. Kaj se

pezo de la elfalajo estas malsama ol tiuj de aliaj, la detekta limo estas malsama ol tiuj de aliaj.

※検出限界とは、測定できる放射能濃度の限度を示しています。降下物試料の量などが異なると、検出限界は変わります。

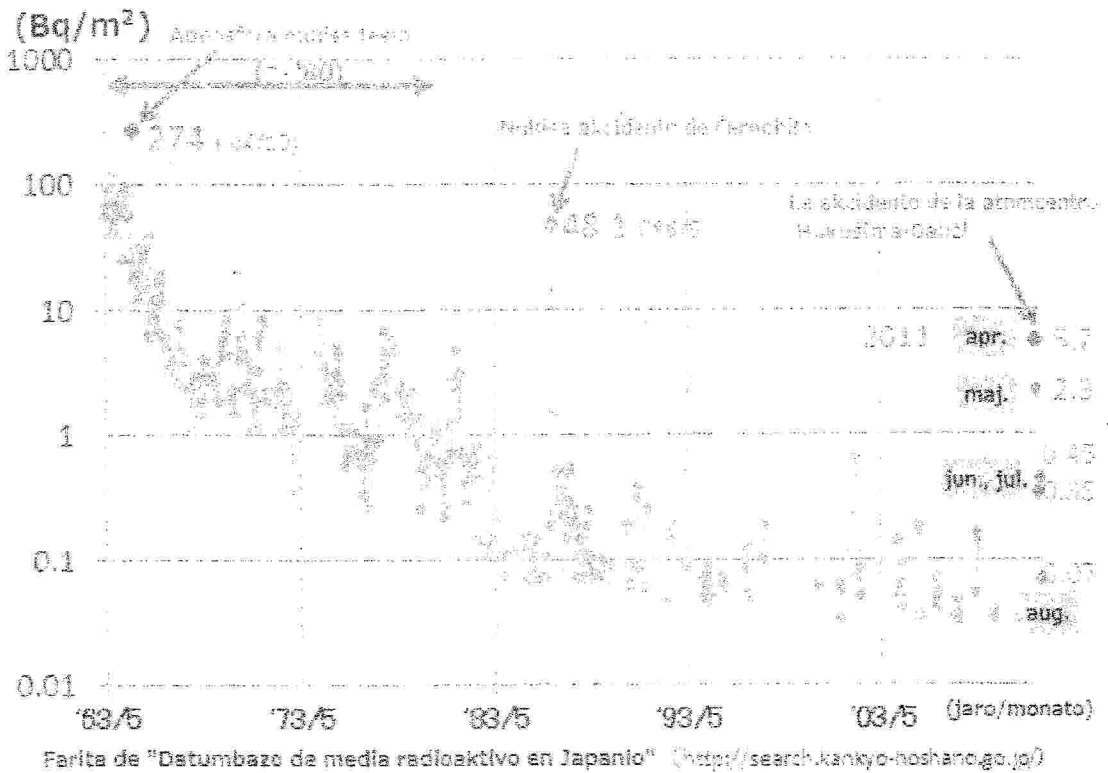
*La radioaktiva koncentriteco deponita okt., 2011 estas "Ne detektiva".

※2011年10月から放射能濃度は「不検出」です。

* Konvertaj faktoroj, 2.88×10^{-4} $\mu\text{Sv}/\text{jaro}$, $0.269 \mu\text{Sv}/\text{jaro}$ kaj $0.130 \mu\text{Sv}/\text{jaro}$ estas uzita por kalkuli po kvantojn de jodo-131, cezio-137 kaj cezio-134 por ĉiu $1 \text{ Bq}/\text{m}^2$ respektive. (Pri jodo-131 kaj cezio-137, referencita de Aneksaĵo A el raporto en 2000 de la Unuiĝintaj Naciaj Scienca Komitato pri Efeko de Atoma Radio. Aliflanke pri cezio-134, referencita de pripenso de studento apartenanta al la Nacia Instituto pri Radiologikaj Sciencoj de Japanio laŭ prova kalkulo konsidere al korekto pri tempa atenuo el raporto de la Unuiĝintaj Ŝtataj Departemento pri Energio: Beck, HL. (1980). "Konverta faktoro por eksponada kvanto pri radionukleoj deponita sur la teron")

※今回検出された放射線物質(ヨウ素-131とセシウム-137について)の放射線の強さの単位である「Bq(ベクレル)」から放射線が人体に影響を及ぼす単位である「Sv(シーベルト)」への換算係数は、国連科学委員会2000年報告書附属書Aに記載されている線量評価手法から導きました。セシウム-134については、「Svensson L. Dose conversion factors for external photon radiation, National Defense Research Establishment, Report FOA C40060-A3; 1979」にある換算係数から、放射性核種の時間による減衰を考慮して、放射線医学総合研究所の担当者が試算した換算係数を用いています。

これによれば、ヨウ素-131については、 $1 \text{ MBq}/\text{km}^2 (= 1 \text{ Bq}/\text{m}^2)$ 当たり $2.88 \times 10^{-4} \mu\text{Sv}/\text{年}$ 、セシウム-137については、 $1 \text{ MBq}/\text{km}^2$ 当たり $0.269 \mu\text{Sv}/\text{年}$ 、セシウム-134については、 $1 \text{ MBq}/\text{km}^2$ 当たり $0.130 \mu\text{Sv}/\text{年}$ となります。



「日本の環境放射線データベース」から作られた

Cezio-137 radioaktiva koncentriteco en la urbo Sapporo
札幌市におけるセシウム-137放射能濃度

En la urbo Sapporo ekde majo 2011 iom post iom la radioaktivo malgrandiĝis.
 札幌市では2011年5月から少しずつ放射能が減ってきています。

Nun, ekde oktobro 2011 ĝis januaro 2012, la radioaktivo estas tre malgranda kaj pro tio ne detektita.

今、2011年10月から2012年1月まで、放射能はとても小さく、そのため検出されません。

En la urbo Sapporo la maksimumo (5.7 Bq/m²) de la radioaktiva koncentriteco en la akcidento de la atomcentro Hukušima-Daiči estas pli malgranda ol tiu (48.1 Bq/m²) en nuklea akcidento de Ĉernobilo, kaj pli malgranda ol tiu (274 Bq/m²) en atmosfera nuklea testo.

札幌市では福島第一原発事故における放射能濃度の最大値(5.7Bq/m²)は、チェルノブイリ原発事故における最大値(48.1Bq/m²)の8分の1であり、大気圏内核実験における最大値(274Bq/m²)の48分の1です。

Tio indikas, ke troviĝas neniu malbonaj simptomoj pri homa sano en Hokkajdo.
 これは、北海道では人の健康への悪い兆候は見られないことを示します。

En la japana ĉefinsulo Honŝuo multe falis la radioaktivaj materioj.
日本の主な島である本州では、放射線物質がたくさん降りました。

En marto 2011 en la gubernio Ibaraki la cezio-137 koncentriteco de monta akumulita elfalaĵo estis 17000Bq/m^2 , tiu en la gubernio Jamagata estis 10000Bq/m^2 kaj tiu en la gubernio Tokio estis 8100Bq/m^2 .

2011年3月には、茨城県では、月間降下物のセシウム-137放射能濃度が 17000Bq/m^2 であり、山形県では、 10000Bq/m^2 であり、東京都では、 8100Bq/m^2 でした。

Kaj en marto 2011 en la gubernio Toĉigi la jodo-131 koncentriteco de monta akumulita elfalaĵo estis 140000Bq/m^2 , tiu en la gubernio Ibaraki estis 100000Bq/m^2 kaj tiu en la gubernio Tokio estis 29000Bq/m^2 .

また、2011年3月に、栃木県では、月間降下物のヨウ素-131放射能濃度が 140000Bq/m^2 であり、茨城県では、 100000Bq/m^2 であり、東京都では、 29000Bq/m^2 でした。

Kaj tiu en la urbo Sapporo en aprilo 2011 estis 5.7Bq/m^2 . Tio estis maksimumo en la akcidento de la atomcentro Hukuŝima-Daiiĉi.

そして、札幌市では2011年4月に 5.7Bq/m^2 でした。これは、福島原発事故で最大値でした。

En la gubernio Hukuŝima, Mijagi, pro la tertremo la kolektujo rompiĝis, tial oni ne povis mezuri la radioaktivon.

福島県、宮城県では、地震のため採取器が壊れ、そのため、放射能を測定することができませんでした。

Ĝis marto 2012 la provizora kriteriaj valoro de la japana Ministerio por Publika Bono kaj Laboro estas 500Bq/kg por radioaktivaj cezioj pri legomoj, cerealoj, viandoj, fiŝoj kaj aliaj.
2012年3月まで、日本の厚生労働省の暫定規制値は、野菜類、穀類、肉・魚・その他に関し放射性セシウムに対して 500Bq/kg です。

Plue la kriteriaj valoroj estos fortigita.

さらに基準値が強化されます。

Ekde aprilo 2012 la (novaj) kriteriaj valoroj estos ordonita kaj 100Bq/kg por radioaktivaj cezioj pri ĝeneralaj manĝaĵoj.

2012年4月からは、(新)基準値は、一般食品に関し放射性セシウムに対して 100Bq/kg になります。

Mi pensas, ke ni devas daŭre mezuri la radioaktivajn por nia trankvilo.
安心のために続けて放射能を測定しなければならないと思います。

Turismo en Sapporo (Sencele promenadi en Sapporo)

札幌の観光案内 (ぶらりサッポロの散歩道)

Tradukita de: YOKOYAMA Hiroyuki, GOTOO Sumiko,
GOTOO Yosiharu, YAMAGISI Etuko

この観光案内の原文 (日本語) は Heroldo de HEL N-ro 134 (Marto 2011) に出ています。同年5月の J E I 全国セミナー (札幌) をひかえ「エスペラント文作成講座」(柴山講師) の作文課題文でした。

このうち一部はその後の Heroldo に 出たことがあります。字句の検討を経て以下の形になりました。目を通しておわかりと思いますが、No. 134 の文そのままではない ところがあります。外国人にも理解してもらえるように原文を見直したり、訳者が現地を見て必要な説明を追加したりしています。疑問の点はご連絡をください。-----La Red. (星田 淳)

1. Horloĝturo Sapporo (Horloĝturo de la urbo Sapporo) / 札幌時計台

Horloĝturo Sapporo estas la plej fama en Japanio el vizitindejoj en Sapporo.

En 1878 la konstruado estis trejnejo pri batalartoj de Agrokultura Kolegio Sapporo, la origino de nuna Hokkajda Universitato. La turo estis poste alkonstruita sur la trejnejo.

La stilo de la konstruado devenas el Agrokultura Kolegio de la ŝtato Masaĉuseco en Usono onidire.

Ĝi ne nur estas la urba horloĝturo, sed ankaŭ estas amata de la urbanoj, ĉar en la urbana ĉarto de la urbo Sapporo skribiĝas, 'Ni estas urbanoj de Sapporo kun sonoro de la Horloĝtura sonorilo.'

En la supra etaĝo oni ekspozicias tiaman movfortan parton de horloĝo faritan de Haward kaj kompanio en Usono.

Iuj klaĉas, ke ĝi estas unu el tri famaj seniluziigaj lokoj en Japanio. Sed estas fortajo de la Horloĝturo, ke ĝiaj materialoj de ekspozicio estas pli plenaj ol tiuj de iuj ajn muzeoj.

Sapporo-ŝi, Ĉuuo-ku, Kita-1-joo, 2-ĉoome

Piede 3 minutojn de la stacio Oodoori, Metroo Nanbokusen de Sapporo.

Malfermita dum 9:00-17:00, krom lunde kaj, se lundo estas festotago, marde.

Enirpago: Plenaĝulo: 200 enoj

Infano malpli aĝa ol 16 jaroj: Senpage

2. Muzeo de Hokkaida Universitato (origine, la Agrikultura Kolegio Sapporo) / 北海道大学総合博物館 (旧札幌農学校校舎)

Tiu domo antaŭe apartenis al scienca fakultato, sed en 1999 renaskiĝis kiel universitata muzeo, kie oni ekspozicias specimenojn kaj sciencajn materialojn kolektitajn dum 130 jaroj de post la fondiĝo de la Agrikultura Kolegio.

Certe mirigos vin la ostaj specimenoj, unu el kiuj estas krokodilo nomata Machikane, kiu vivis antaŭ 370 mil jaroj kaj en 1965 estis eltrovita en kvartalo Maĉikanejama de la urbo Tojonaka. Kaj la alia estas dinosaŭro Desmostylus, kiu vivis antaŭ 15 ~ 16 milionoj da jaroj kaj estis eltrovita en Saĥaleno en 1933, prifosita unue en la tuta mondo.

Ekster la muzeo troviĝas busto de fama Dr. Clark, la unua ĉef-instruisto de la Agrikultura Kolegio Sapporo. La Memoriga Halo Furukaŭa konstruita laŭ franca renesanca stilo allogas vin. La plej taŭga loko por promeni estas vastega agraro proksima al la muzeo.

- Adreso: Kita 10, Niŝi 8, Kita-ku, Sapporo-ŝi
- Aliro: 12 minutojn perpiede de JR-stacio Sapporo.
- Malfermita: 10:00-16:00 (de junio ĝis oktobro 9:30-16:30)
- Fermita: ĉiulunde, se okaze de nacia ferio, tiam marde; Dec. 29-Jan. 3 • •
- Eniro: senpaga

3. Bierproduktejo sub Kolonia Fako / 札幌開拓使麦酒醸造所

En 1876, septembre komencis ĉi tie produkton de biero la ŝtata buroo Kolonia Fako. Oni diras, ke tio estas la unua bierprodukto en Japanio. Post nuligo de Kolonia Fako en 1883, administris la produktojn la agrikultura kaj komerca ministrejo, en 1886 la Gubernio Hokkajdo, kiu, vendis la produktojn al Kompanio Ookuragumi de Tokio.

En 1887 la produktejo ŝanĝis sian nomon al Sappora Bier-Kompanio.

Nun ekstero de la produktejo restas sama kiel antaŭe, sed la interno estas produktejo de loka biero, kiun oni povas gustumi en atrio de apuda domo "Sapporo Factory".

- Adreso: Kita 2, Higaŝi 4, Ĉuuoo-ku, Sapporo-ŝi
- Aliro: 6 minutojn per JR-aŭtobuso (n-ro 3-a) de JR-stacio Sapporo.
La nomo de la aŭtobusa haltejo: "Sapporo Factory".
- Malfermita: ĉiutage 9:00~, senpage

4. Eksa ĉefoficejo de Gubernio Hokkajdo / 北海道庁旧本庁舎

Oni nomas ĝin karesnome "Ruĝa briko". La turismaj vizitantoj sekvas

sin senpaŭze. Ĝin oni ekkonstruis en 1886 kaj elfaris post du jaroj en decembro.

Estas surprize, ke ĝin planis la terkonstrua buroo de la Gubernio, la stilo de konstruo estis USON-eska neo-baroko.

Ĝin oni tegmentis per ardezoj. Ĝi havas subteretaĝon, du etaĝojn kaj turetaĝon. La domo okupas surface-amplekson de 1653 kvadrataj metroj. La tajlita ŝtono de bazo estis produktita de la Mt. Kataiŝi ĉe Jamahana, la brikojn oni bakis en bakejo de vilaĝo Ŝiroiŝi.

La konsturuaĵon oni klasis kiel nacia historia monumento decembre de 1967, kaj aprile de 1969 oni klasis ĝin kiel la ŝtata grava historia monumento.

Kita 3-joo Niŝi 5-ĉoome, Ĉuuooku, Sapporo-ŝi

9 minutojn piede el JR-stacidomo Sapporo

eni-ro: 10:00~

pordomono: Senpaga

5. La Muzeo de la urbo Sapporo / 札幌市資料館

Tiu ĉi domo estis konstruita kiel la Apelacia Juĝejo de Sapporo en 1926. Post la dua mondmilito, ĝi ŝanĝis la nomon al la Altgrada Juĝejo de Sapporo. Novembre de 1973, okaze de la prestiĝo de nova domo por la juĝejo ĉe la norda flanko, oni ekuzis ĝin kiel la Muzeo de la urbo Sapporo.

La konstruaĵo estas ambauflanke simetria, konstruita per brikoj, la bazo estas mola ŝtono el Iŝijama kvartalo en Sapporo. Ĝi havas du etaĝojn kaj turetaĝon. Tia domo el mola ŝtono estas rara en la tuta lando. La unua etaĝo estas ekspoziciejo, kie oni povas vidi la historion de Sapporo. Ĉirkaŭ duona spaco de la ekspoziciejo estas por-urbana galerio, kie oni povas ekspozicii siajn artajn verkaĵojn.

Oodoori Niŝi 3-ĉoome, Ĉuuooku, Sapporo

15 minutojn piede el JR-stacidomo Sapporo

eni-ro: 10:00~18:00

pordomono: Senpaga

6. La skisportejo de Ookurajama (Monto Ookura) / 大倉山スキー競技場

Tiu ĉi sportejo estas la ortodoksa areno kiel grandsaltejo utiliganta la naturon kaj unu el la plej elstaraj en la lando.

Januare de 2011 oni preparolis pri mezlernejanino Takanaŝi Risa, kiu saltis la grandsaltadon de 141 metroj. Ĉe la startejo, eĉ bravulo, kiu

ne timas altejon, sentas, ke siaj kruroj ŝtoniĝus.

Iama(la unua) saltejo estis desegnita de norvega vickolonelo, kiu kontribuis por la progreso de la skiado en Hokkajdo, kaj poste la barono OOKURA Kisiĉroo financis entreprenon kaj finfaris ĝin en la jaro 1931.

Tiutempe, ĝi estis 60m-klasa saltejo, kie unuafoje superis 80 metrojn KIKUĈI Sadao el Neĝmarka Laktindustrio la 22an de februaro, 1963.

De oktobro en 1997, oni povas salti tie ankaŭ somere.

Loko: Sapporo-ŝi Niŝiku Mijanomori 1274

Aliro: De la Stacio Marujamakooen de Subtera Trajno
aŭtobuse 10 minutojn per linio Arajama

malfermita: somere 8:00 ~18:00

vintre 9:00 ~17:00

Rigardejo: enirbileto(iro-reiro)

plenkreskulo 500 jenoj

infano 300 jenoj

7. La Nakazimakoeno/ Parko Nakajima /中島公園

Parko Nakajima estas publika parko aranĝita de urbo Sapporo.

Ĝi situas en la loko Minami 9 ~14 joo, Niŝi 3~5 ĉoome.

Oni diras ke ĝi havas terenan formon similan al eta Novjorko kun la riveroj Tojohira kaj Kamokamo ambaŭflanke. En somero dense kreskintaj arboj donas al la urbanoj oazon kun verdajo kaj akvo. La vasteco estas 22 hektaroj.

En 1886 ĝia areo estis 54.3 hektaroj, sed ĉirkaŭ 1919 ĝi limiĝis kiel nun. En la parko troviĝas jenaj vizitindaĵoj.

1. Japaneska ĝardeno kun teĉambro Hassooan.
2. Halo Hoohejkan, kiu fieras pri sia kvintesenco de la eŭropstilaj konstruaĵoj
3. Koncertohalo "Kitara", kiu fieras pri la plej bona sonaŭdebleco (akustiko) en Japanio.
4. Regiona literatura domo.
5. Astronomia observejo
6. Gimnastikejo

Kaj sur la lageto de akoroj, familioj kaj geamantoj ĝuas la tempon kviete sur la boato.

Aliro: De stacio Nakajimakooen(norda enirejo),

De stacio Horohirabaŝi(suda enirejo)

de subtera trajno: linio Nanboku-sen

Eniro: Kiam ajn oni povas promenadi kaj eniri libere

8. Historia Vilaĝo de Hokkajdo / 北海道開拓の村

Post Meĵji-Renovigo, la disfalo de samuraja ŝoguna registaro en 1868, nova japana registaro klopodis modernigi Japanion, precipe Hokkajdon, kie, plejparte de la lando, loĝis nur la indiĝenoj ainoj ĝis la Renovigo.

De tiam la sovaĝajn terenojn de Hokkajdo komencis plugebligi japanaj pioniroj, invaduloj laŭ aina vidpunkto. Kaj multiĝis japanaj kamparanoj, komercistoj, ŝtaticistoj, k. a.

En la vasta tereno de 'Historia Vilaĝo de Hokkajdo' ekspoziciataj estas diversaj konstruaĵoj kaj vilaĝoj faritaj dum ĉ. sesdek jaroj post Meĵji-Renovigo. La tereno estas dividita en du partoj urbo-stila kaj kampar-stila.

En la urbo-stila parto ĉirkaŭ Ĵurnala Kompanio Otaru fondita en 1894 staras Stacio Sapporo ĉe la enirejo, Ĉefoficejo de Kolonia Fako, poŝtejo, budhista templo, Mezlernejo Hokkai, kuracejo, sake-farejo, barbir-ejo, vendejo, policejo kaj aliaj, entute 31 konstruaĵoj.

Ekster la urbo-stila parto troviĝas fiŝvilaĝo, kampara vilaĝo, intermonta vilaĝo kaj aliaj. Oni demonstras tiaman vivon en kaj ekster la konstruaĵoj.

En la centro de la urbo-stila parto kuras fervoja kaleŝo. Plenaĝulo povas veturi en ĝi per 270 enoj.

La loko estas taŭga ankaŭ por ekskurso.

Sapporo-ŝi, Acubecu-ku, Acubecu-ĉoo, Konoppo 50-1

Por veturi per buso de la stacio JR-ŝinsapporo ĝis la stacio Kaitaku-nomura, oni bezonas ĉirkaŭ 15 minutojn.

Oni akceptas la vizitantojn.

Somere (aprile - novembre) dum 9:00 - 17:00

Vintre (decembre - marte) dum 9:00 - 16:30

Dum jarŝanĝaj tagoj (29/dec. - 3/jan.) oni ne akceptas (fermite).

Enirpago: por plenaĝulo: 830enoj(somere), 680enoj(vintre)

por studento de dua mezlernejo kaj universitato:

610enoj(somere), 550enoj(vintre)

*Mejlŝtono: 2012 Januaro N-ro 229
仙台E会: B5X 16頁中E.文6頁。仙台の姉妹都市のエスペランチストからの年賀状紹介が2頁。Danke ricevitaĵojに Heroldo de HEL n-ro139 紹介、だが(蜚) estas "lampilo"? と文字化け発生!

*受講生通信 第140号, 2012-92-01, 沼津エスペラント会, B5X10 頁の内E.文半頁(初級修了者から!)。沖縄エスペラント会を立ち上げた、普天間基地のある宜野湾市の比嘉康文さんも受講生になっている。

*La Movado; 関西エスペラント連盟 (KLEG)発行, N-ro 732 februaro 2012, B5X16 頁のうちE.文4頁。巻頭記事は Skize pri japana Esperanto-Movado en 2011. モバード俳壇/Rondo Hajkista は31回目。レベルも高い。各地のザメンホフ祭報告に写真が盛りだくさん。対訳: 失敗園(太宰治/小西岳)連載開始。

*NOVA VOJO: N-ro 481 FEBRUARO 2012 EPA (エスペラント普及会)、A5 X34 頁中E文6頁。2011・2012 越年エスペラント合宿の記事にパワー、盛り上がり、楽しい——という言葉が多い! 会員名簿に北海道の10人の名がある。

*Novajoj Tamtamas: Internacia Gazeto de Jokohama Esperanto-Rondo (JER, Hama-Rondo); N-ro 268/februaro 2012, A4X4 頁、全文E. TIEL OKAZIS en Hama-Ronda Vespero に S-ro Karibe (苅部) のスイスアルプスの映画、マターホルン、モンブラン登山の話など。BELETRO には Frukto de

pirarbo (小山内薫の短編「梨の実」のE.訳)

*La Tamtamo: 第440号, 2012年2月号, A4X8頁、横浜エスペラント会/JER発行、日本文。1月12日亡くなられた会員山崎勝さん追悼関係が1~3頁。

「講習会便り」を見ると中級クラスが三つ、サローノ、水曜日クラス (SIL-ENTO), 歌唱クラス、計6グループが活動している。

*La Movado; KLEG 発行, N-ro 733 marto 2012, B5X20頁のうちE.文4頁。この号は本の記事が多い。まず巻頭記事 Japanaj eldonadoj en 2011 は昨年国内で出たエスペラント図書概観。連載中の峰芳隆「わたしが出版を担当した本(4)」は「エスペラント会話上達法」と La Flambirdo(火の鳥未来編)。「自著を語る」には比嘉康文が「わが身は炎となりて」について。1967年焼身抗議の由比忠之進の一生を追求したもの。「出版情報」には長谷川テルの遺児暁子の「二つの祖国の狭間に生きる」(同時代社)も出ている。

*NOVA VOJO: N-ro 482 MARTO 2012 EPA、A5 X32頁中E文6頁。6頁にわたる越年E.合宿の感想はネパール人5人、韓国人1人、モンゴル人1人、日本人17人(うち6人は子供クラス)。編集後記で10月の日本エスペラント大会(札幌)に関連して北海道エスペラント連盟が昭和7年(1932)空知郡山部村の大本北海別院(現在は富良野市山部の大本北海本苑)の第1回北海道E.大会で結成されたことを詳しく解説。

Protokolo de la 11a Kunsido de Loka Kongresa Komitato por
la 99a Japana Esperanto-Kongreso [第99回日本大会11回LKK 議事録]

日時 : 2012年1月21日 (土) 13:05~16:00

場所 : 札幌エルプラザ 2階打合せコーナー

出席者 : 星田 (司会)、犬丸 (KKS)、横山、後藤 (義)、後藤 (純)、阿部 (記録)、(オブザーバー) 中田、末永、山下

資料 (「項目一覧」、「RO折込原稿」、「部屋割一覧表」、「部屋と時間割枠」、「99日本大会スタンプ」、「記念切手図柄」、「後援申請」、「KKKより」)
(郵便局との交渉に当たっている中田の時間的都合で、まず大会スタンプと切手について話し合う)

1 大会スタンプ及び記念切手について、中田から郵便局との話を進めると説明あり。スタンプの図柄は「見返り美熊 (ヒグマ)」。相手の都合もあるので、来週中に 行って担当の業天 (ぎょうてん) さんと話し合う。

前回委員会で、記念切手は「シマフクロウとハマナス」として、長方形の図案は絵葉書にするとなったが、図案作成者の後藤 (義) から、資料の記念切手図柄に記したとおり、80円切手を洞爺湖とエゾシカ、50円切手をハマナスとキタキツネ及びオホーツク海風景の2種類としたいとの案が出された。記念切手は、決められた手数料さえ支払えば作成できるのでもう少し委員会内で話し合う。

2 郵便局員が来て記念切手等の販売を行う場合に、営利販売と見なされると部屋の使用料が倍 (10割増し) になる。

エスペラントグッズ販売、図書販売も同様なので、確認する必要がある。図書販売は注文だけ受けて直接販売はしないという方法もある。使用料の安い小さな部屋を販売用に用意することも検討する。

3 中田から、大本教の大祭が年2回あり、5月・8月に案内を出すので、1200字程度で「10月6・7・8日に札幌で日本大会開催」の案内記事載せることは可能と思われるので載せたらどうかとの提案があり、LKK 星田委員長名で星田が文案作成する。

4 La Dua Informilo (RO誌2月号に綴じ込み) に大会概要・参加費等記載。現在、不在 参加も含め96人で、実参加者数は200人程度と考えている。2月末までが5000円 (7月末まで6000円、8月1日以降7000円) なので、次回3月のLKK 時には参加予定者の大部分が申し込むと思われる。

5 後援依頼について

後援に際して、公開番組が必要な場合がある。大会講演と入門講座が該当。

まだ、打診段階で正式依頼していない団体もあるので、それぞれ担当者が依頼する。後援団体からの開会式出席については、あまり期待できないが一応

打診してみる。

現在、財団法人日本エスペラント学会であるが、4月1日から一般財団法人日本エスペラント協会となるので、その旨後援団体に伝える必要がある。

6 記念出版

絵本『よみがえれ、えりもの森』は、星田とJEIの川西出版部長が協力し、順調に進んでいる。

7 番組（分科会申し込みをKKSで受付中。下記の部屋と日時は、とりあえずの予定なので、今後変更の可能性あり）

（1）1日目の10月6日午後は、試験と入門講座、夜に部屋820（144人）で行う Interkona Vespero(Amika Vespero)以外はまだ番組未定。

試験 部屋320（16人）会話試験

部屋810A（18人）点字試験

部屋810B（30人）

（2）エスペラント入門講座の講師は北海道連盟では人手不足のためJEIにお願いする。10月6日午後に部屋550（42人）で実施予定。

（3）アイヌ語関連番組は、文法の簡単な概要やアイヌ語地名について横山が担当予定。10月7日午前に部屋510（54人）で実施予定。

（4）記念出版関連番組は、NHK『プロジェクトX』で放映の『襟裳岬に春を呼べ』DVD及びコンクール課題図書『経緯等』について後藤（純）が担当予定。

10月8日午前部屋550（42人）で実施予定。

（5）公開講演は 8日 13:00～14:30に変更

（6）閉会式は 8日 14:45～15:30に変更

閉会式終了後 観光旅行団が出発

8 開会式

10月7日午前に、かでのホールで実施。式終了後にアイヌ舞踊を実施。

アイヌ舞踊については、10人程度で22万円の見積り。横山から正式に依頼する。

9 札幌観光案内

長崎のような正式な観光パンフレットは作らない（今後も札幌に来るエスペランティストのために使用できるとの考えもあるが、最近の札幌市はビルの建替え等変化が大きくすぐ古くなってしまいう可能性が高い）。

昨年のセミナーオで参加者が作成した観光案内文章は星田の手元にあるので、それを含めて簡単な観光案内を作成する。

10道内エスペラント関係資料の整理編纂や北海道連盟史作成は、現段階では手不足で無理なので行わない。

11 大会後観光は、洞爺湖・有珠山

2月末までの申込数を考えて3月になって再見積りする。バス1台40～50人。人数により宿の選択も変わる。宿の程度は「中の上」くらいと考える。

復路に千歳市の「さけのふるさと館」（10月9日は祝日の後なので開館しているか確認必要）と新千歳空港に立寄り札幌駅に戻る。

バスと宿の手配は、後藤（義）が担当。

洞爺湖・有珠山の説明は、誰か道内エスペランチストが同行して行う必要がある。

12 国外からの参加者

ウラジオストクのロンドから2名参加の可能性（→1名）。自然保護などで話してもらふ番組を持ってもらえないか検討。参加費と宿泊費とBankedo はJEI 負担。旅費（1人7万円程度）は別扱い。

函館在住のセルゲイ・アニケーエフ氏にも参加してほしい。（後藤（純）提案→星田、犬丸が打診する）

13 会場位置図、ホテルリスト等について

ホームページは横山が作成。RO同封のホテルリストは1月末作成。

Protokolo de la 4-a Komitato Kunsido de HEL

北海道エスペラント連盟 第4回委員会記録

日時 : 2012年1月21日(土) 16:10 ~17:00

場所 : 札幌エルプラザ 2階打合せコーナー

出席者: 横山(司会)、星田、後藤(義)、後藤(純)、末永、山下、阿部(記録)、犬丸(オブザーバー)

<組織>川合事務局長は欠席だが、会計担当(後藤(純))から、新規加入者や退会者はないとの報告があった。

<財政>予算よりも使用金額は増えそう。(後藤(純))

委員会として、それほど高額でなければ、必要な費用は会活動のために積極的に支出すべきという結論になった。例えば、事務局を置いている札幌エルプラザで使用しているロッカーが小さくて一杯なので、次期は料金が高くなっても良いから小ではなく大で申し込む(希望通りになるかは未定)。

<広報>ホームページのアクセス数67,280件。3ヶ月前66,897件なので約400件と横ばい。(横山)メールマガジンは、12月25日に152号を発行。部数は473部で横ばい。(横山) <情報・宣伝>

佐高信氏『タレント文化人200人切り』が12月25日出版された。以前、毎日新聞に連載されたもので、故黒田紀章氏がエスペラントをけなしたのに対し2ページにわたり反論している。(後藤(純))他の委員から、佐高信氏は以前亀

岡で講演したこともありエスペラントの理解者だと説明あり。

宣伝のために『エルプラまつり』には、今年もあるなら参加する。

<教育・研究>連盟としては、今年は合宿の予定はなく特に報告はない。札幌と苦小牧での学習会は、前回委員会時と同様。昨年苦小牧入門コースで始めた人が、現在メールで外国と文通している。(星田)

姪の娘(小学3年生)が冬の自由研究でエスペラントについて発表した。(後藤(純))<機関誌>第139号は16ページで本日発行、90部作成。次号発行は次回委員会の日に。(星田)→札幌エルプラザ2階で3月11日(日)午前10時から印刷・発送作業を行う。(星田)

<社会活動>特に問題誰からも報告なし。

<次回委員会>3月11日(日)午後1時から開催の、日本大会LKK 終了後に行う。

[編集後記/Redaktanto parolas ...]

*6頁の「札幌市における月間降下物放射能濃度」は昨年3月の福島原発事故以来のデータ。次第に減少、現在は不検出。北海道は安心!か。

北海道エスペラント連盟 会費/年

正会員 3000円、青年会員(26歳未満) 1500円、

購読会員 2000円、家族会員 1000円

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

*Redaktas la Organa Fako de HEL
ĉe HOŝIDA Acuŝi

Miyanomori 2-18-18, TOMAKOMAI
053-0844 JAPANIO

TEL-FAKS:0144-74-2539

Retadreso:hosidaacusi@kir.biglobe.ne.jp

Postgirkonto(郵便振替):02700-6-17075

*Sekretario: KAWAI Yuka

N-ro 45, Simin-Katudô-Sapôto-Sentâ
Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3
Kita-ku, Sapporo, 060-0808 Japanio
TEL-FAKS:0126-62-4636

Retadreso:nordano@sea.plala.or.jp

*TTT-ejo: http://www5d.biglobe.ne.jp/~hel/jp/index-j.htm

北海道エスペラント連盟

*編集:連盟機関誌部

〒053-0844 苦小牧市

宮の森町2丁目18-18

星田 淳 方

*事務局:川合由香

〒060-0808 札幌市北区

北8条西3丁目札幌エルプラザ

市民活動サポートセンター レターケースNo.45